

所属：医学部・医学系研究科・附属病院 医療安全感染管理部

教授 兼兒 敏浩 (かねこ としひろ)

カテゴリ) 医学・薬学

《一言アピール》 22年度から感染制御部と発展合併いたしました。医師、看護師のみならず、薬剤師、臨床検査技師、警察OB、院内弁護士等と連携して、臨床現場を取り巻くあらゆる問題に対応しています。

研究テーマ

Research Themes

■ 医療安全の増進、医療の質の向上、地域医療の充実

地域医療支援の実践、Aiの普及、簡便な有害事象の把握方法の開発、患者ハラスメント対策、医療におけるノンテクニカルスキルの研究、感染対策向上のための地域内病院のラウンドの実施、県内外の医療施設における職員研修の実施等。

応用分野

- 病院機能の第三者評価
- 医療事故調査

主な保有技術

- 病院機能の第三者評価：病院機能の標準化等にむけて具体的な方策の助言等を行っています。
- 医療事故の原因調査：医療事故にかかる調査、助言を行っています。
- 医療安全に係る職員研修：医療安全全般にかかる研修を行っています。

主な保有機器・装置

- 医療上のインシデントに係るデータや医療の質に関して検討した事例を多数保有しています。

社会活動

- 医療安全にかかる講演会
- 医療事故調査委員会への参加

著書・論文等

- Kaneko T, Wada H. Diagnostic criteria and laboratory tests for disseminated intravascular coagulation. J Clin Exp Hematop. 2011;51(2):67-76.
- Kaneko T, Wada H, Nobori T, Yamada N, Nakamura M, Ito M. Prevention of venous thromboembolism according to the guidelines of a domestic manual. Int J Hematol. 2010 Jun;91(5):909-11.
- Kaneko T, Hibi M, Ishibashi M, Nakatsuka A, Omori Y, Ishikura K, Hatada T, Takeda T, Takei Y, Takeda K. Postmortem computed tomography is an informative approach for prevention of sudden unexpected natural death in the elderly Risk Management and Healthcare Policy 2010.3 13-20
- 兼兒敏浩、石橋美紀、日比美由紀：患者ハラスメントの実態調査とその対策に関する研究 日本医療マネジメント学会雑誌 Vol.10, No.2, 399~403 2009
- Kaneko T, Wada H, Onishi K, Abe Y, Ota S, Yamada N, Matsumoto T, Katayama N, Sudou A, Uchida A, Nobori T. Cutoff values of D-dimer and FDP in plasma for the diagnosis of thrombosis. Vasc Disease Prevention 2008, 5, 81-8
- 兼兒敏浩：死亡事例検討会におけるAi活用～医療安全管理者の視点から～医療安全 No15 48～49, 2008
- 兼兒敏浩：全死亡症例の「医療の質・倫理検討委員会」での検討 医療安全 No18 43～45, 2008
- 兼兒敏浩：リスクマネジャーの1週間 患者安全推進ジャーナル No22 18～21, 2008
- 兼兒敏浩：医療材料を巡る諸問題について ～安全管理者の立場から～ イザイ 第3号 58～64, 2007
- 兼兒敏浩：有害事象把握のためのスクリーニングとしての入院中調査と退院後調査との比較・検討：厚生労働科学研究、医療事故の全国的発生頻度に関する研究報告書 平成17年度総括研究報告書(主任研究者 堺秀人)
- 兼兒敏浩：医療安全管理を巡る諸問題について：インシデント・アクシデントレポートレポートを中心に。医療と社会 第16巻 55～71, 2006

関連ホームページ

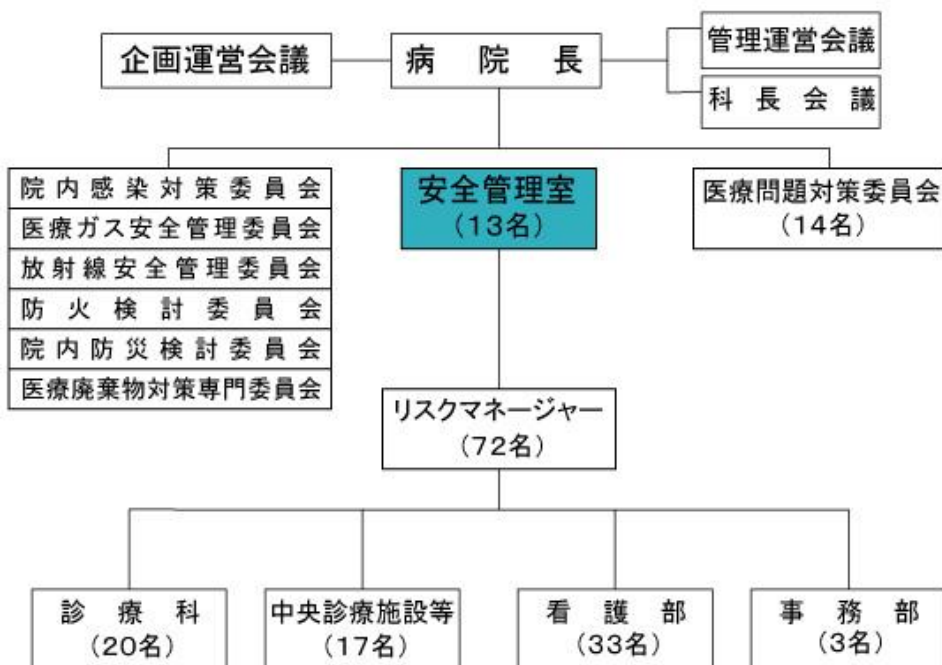
- 三重大学教員紹介 <http://kyoin.mie-u.ac.jp/profile/1313.html>

☆詳細は、HPをご覧ください。

著書・論文等つづき

- Kaneko T, Stearns-Kurosawa DJ, Taylor F Jr, Twigg M, Osaki K, Kinasewitz GT, Peer G, Kurosawa S. Reduced neutrophil CD10 expression in nonhuman primates and humans after in vivo challenge with E. coli or lipopolysaccharide. Shock. 2003 Aug;20(2):130-7.
- Kaneko T, Wada H, Wakita Y, Minamikawa K, Nakase T, Mori Y, Deguchi K, Shirakawa S. Enhanced tissue factor activity and plasminogen activator inhibitor-1 antigen in human umbilical vein endothelial cells incubated with lipoproteins. Blood Coagul Fibrinolysis. 1994 Jun;5(3):385-92. 共著 Autopsy imagingガイドライン ベクトル・コア社 共訳 患者安全学入門 エルゼビア・ジャパン

三重大学医学部附属病院に於ける医療安全に係る組織図



安全管理室は三重大学医学部附属病院の医療安全に関して中心的な役割を担っています。

※三重大学全学シーズ集HPより

☆詳細は、HPをご覧ください。